

# 都市再生整備計画 事後評価シート

焼津中部地区  
(地方都市リノベーション事業)

平成27年2月  
静岡県 焼津市

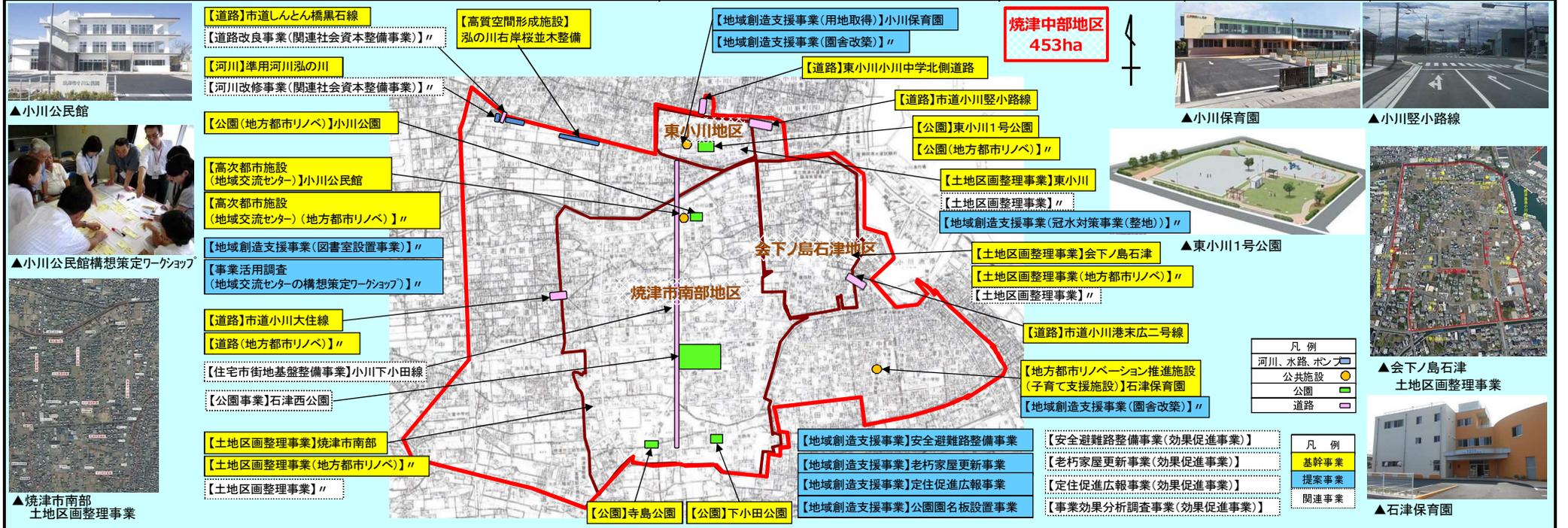
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	焼津市	地区名	焼津中部地区		面積	453ha				
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	6,768.6万円	国費率	0.441					
1)事業の実施状況			事業名									
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】東小川小川中北側道路、市道小川堅小路線、市道小川港末広二号線、市道小川大住線、市道しんとん橋黒石線 【公園】下小田公園、寺島公園、東小川1号公園 【河川】準用河川泓の川 【高質空間形成施設(緑化施設等)】泓の川右岸桜並木整備 【高次都市施設(地域交流センター)】小川公民館 【土地区画整理事業】東小川、会下ノ島石津、焼津市南部									
		提案事業	【地域創造支援事業(保育園用地取得)】小川保育園 【地域創造支援事業(保育園舎改築)】小川保育園、石津保育園 【地域創造支援事業(安全避難路整備事業)】東小川・会下ノ島石津 【地域創造支援事業(老朽家屋更新事業)】会下ノ島石津 【地域創造支援事業(冠水対策事業(整地))】東小川 【地域創造支援事業(定住促進広報事業)】東小川 【事業活用調査(地域交流センターの構想策定ワークショップ)】小川公民館									
			事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】市道小川島田幹線 【公園】尻川公園 【高質空間形成施設(シンボル道路整備)】小川下小田線歩道		土地区画整理事業の進捗にあわせ当初計画から削除 公園予定地の移転遅延により当初計画から削除 土地区画整理事業の進捗にあわせ当初計画から削除		影響なし					
		提案事業	【事業効果分析調査事業】焼津中部		制度拡充により効果促進事業に移行したため削除		影響なし					
新たに追加した事業	基幹事業	【道路(地方都市リノベーション事業)】市道小川大住線 【公園(地方都市リノベーション事業)】東小川1号公園、小川公園 【高次都市施設(地域交流センター)(地方都市リノベーション事業)】小川公民館 【地方都市リノベーション推進施設(子育て支援施設)】石津保育園 【土地区画整理事業(地方都市リノベーション事業)】会下ノ島石津、焼津市南部		制度拡充による追加		影響なし						
	提案事業	【地域創造支援事業(図書室整備事業)】小川公民館 【地域創造支援事業(公園園名板設置事業)】下小田公園、寺島公園		計画内容の精査により、基幹事業から移行		影響なし						
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	耐震化されていない家屋の低減	棟	2,363	H21	2,084	H26	1,700	○	あり なし	土地区画整理事業が貢献し、地域が安全となるまちづくりを推進した。	平成27年4月以降
	指標2	定住人口	人	18,387	H21	18,842	H26	18,321	△	あり なし	地区内人口は減少したものの、焼津市全体の人口減少率2.18%に対し、地区内は0.36%と、概ねすべての事業により、人口の減少が抑制された。	-
	指標3	地域の防災力の向上(6項目の平均値)	ポイント	2.37	H21	2.51	H26	2.51	○	あり なし	概ねすべての事業が貢献し、減災に取り組むまちづくりを推進した。	平成27年11月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	市人口に占める地区内人口の割合	%	12.82	H21	/	/	13.06	/	/	土地区画整理事業をはじめ、公園の整備、保育所や公民館にかかる事業が貢献し、地域が安全で減災に取り組むまちづくりを推進した。	-
その他の数値指標2	地域の防災力の向上(5年前との比較)	ポイント	2.63	H21	/	/	2.79	/	/	概ねすべての事業が貢献し、減災に取り組むまちづくりを推進した。	平成27年11月	
4)定性的な効果発現状況	・地域の防災力に対する住民意識の高まりから、地域の防災訓練にこれまで参加しなかった人たちが参加するようになった。 ・ワークショップ等の実施により、住民と行政の対話の機会が増え、住民のまちづくりへの理解や満足度が高まるとともに、行政職員のコミュニケーション能力が高まった。											
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス	小川公民館構想策定ワークショップ 下小田公園基本計画策定ワークショップ 寺島公園公園基本計画策定ワークショップ 東小川1号公園公園基本計画策定ワークショップ					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● ●	
持続的なまちづくり体制の構築	地域安全協議会 小川第11, 12, 13, 港第14, 23自治会 焼津市環境衛生自治推進協会(環自協) 港第23自治会第11町内会					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●	・今後も各組織が継続して、実施していく。	

## 様式2-2 地区の概要

### 焼津中部地区(静岡県焼津市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
日々のまちづくり(都市整備事業や住民のまちづくり活動)を通じて地域力を養い、災害時対応力を高める『防災まちづくり』 目標1:地震、津波、風水害等の災害に対して地域が安全となるまちづくり 目標2:地域のネットワーク力を高め減災に取り組むまちづくり	耐震化されていない家屋の低減	単位:棟	2,363	H21	2,084	H26	1,700	H26
	定住人口	単位:人	18,387	H21	18,842	H26	18,321	H26
	地域の防災力の向上(6項目の平均値)	単位:ポイント	2.37	H21	2.51	H26	2.51	H26



**まちの課題の変化**

- 土地区画整理事業施行地区に接続する道路の改修が残され、防災都市構造の形成は十分でない。
- 災害時における緊急避難可能な身近な避難地・避難路の整備は十分でない。
- 土地区画整理事業施行地区に接続する河川の改修が残され、冠水被害の軽減は十分でない。
- 土地区画整理事業施行地区内には老朽家屋や非耐震家屋が残され、地震に伴う家屋の倒壊や家具の転倒防止による人的被害の抑止は十分でない。
- 土地区画整理事業施行地区内には公園の整備や歩行者道の整備が残され、ゆとりある居住環境づくりは十分でない。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- 効果を持続させるために行う方策
- ・日常的な地域住民によるまちづくり活動を継続することで、地域コミュニティのネットワーク力が高まり、災害時における住民自助・共助の対応力の強化が更に進む。
- 改善策
- ・地震発生時、緊急に一時的に避難できる身近な避難場所を確保するため公園の整備を行う。
- ・土地区画整理事業により、避難路の整備を行う。
- ・老朽家屋の更新や耐震化を促進し、地震時の家屋の倒壊を防止する。
- ・公園の整備により、ゆとりある居住環境づくりを進める。
- ・土地区画整理事業により、快適な居住環境づくりを行う。
- ・居住者が安心・快適に生活できるよう歩行者道の整備を進める。
- ・土地区画整理事業にあわせて、土地区画整理事業区域境の道路や交差点の改良を行い、車両や歩行者の円滑な通行を確保し、区画整理事業により整備された避難路へのアクセス等を改善する。
- ・土地区画整理事業にあわせて、河川改修を行うことで、冠水被害の軽減を促進する。
- ・土地区画整理事業にあわせて、避難の支障となる電柱等の移設を行い、区画整理事業による避難路の整備を促進する。